



# OUT THERE FOR A REASON

自身も過去に抗議デモで逮捕  
バーニー・サンダース米議員  
ガザ停戦求める学生デモを支持



いまだ収束に向かわないイスラエル・ハマス戦争。パレスチナ市民の犠牲が増え続ける中、イスラエルに有形無形の支持を続ける米国政府、企業、そして大学に反発した学生たちが動いた。ガザ地区での停戦、イスラエル関連企業への投資の停止などを要求する抗議運動は、コロンビア大学を筆頭に、全米各地の大学に波及した。これについて、2016年の大統領選で若者たちから絶大な支持を集めたバーニー・サンダース上院議員にアマンプールが話を聞いた。



番組ホスト

**クリスティアン・アマンプール**

イラン人の父と英国人の母を持つ。生まれはロンドンだが、幼少期はテヘランで過ごした。英国でジャーナリズム養成講座を修了。渡米し、ロードアイランド大学でジャーナリズムを専攻し、首席で卒業。1983年、CNNに入社。数々の紛争地で現地取材を行い、ジャーナリストとして高い評価を得ている。2021年に卵巣がんで卵巣の摘出手術を行ったことを発表。現在も第一線で活躍する。

ゲスト

**バーニー・サンダース**

バーモント州選出の上院議員。大統領選出馬の際を除けば、一貫して「無所属」を貫いてきた。2016年の大統領選挙では民主党予備選挙に立候補し、社会格差に不満を抱える若者たちから大きな支持を集め、一時はヒラリー・クリントンに迫る勢いを見た。1941年、ニューヨークでユダヤ系の家に生まれる。



Listening Quiz

**62 逮捕者数千人——大学キャンパスを占拠する抗議運動は擁護できるか？**



**Christiane Amanpour** The campus protests have reached the White House in that President Joe Biden has now made his first public comments since they began, speaking right after police crackdowns.



**Joe Biden (in video)** There should be no place on any campus, no place in America, for anti-Semitism or threats of violence against Jewish students. There is no place for hate speech or violence of any kind, whether it's anti-Semitism, Islamophobia, or discrimination against Arab Americans or Palestinian Americans. It's simply wrong. There's no place for racism in America. It's all wrong. It's un-American.



**Amanpour** This morning, UCLA became the latest to call in police on its own students, many of whom had been camping out to protest the war and humanitarian crisis in Gaza. Law enforcement clearing their encampment arrested and zipcuffed students. The university had called for people to disperse earlier, saying police deemed their demonstration an unlawful assembly.

Now, these protests have been spreading across the United States, spearheaded by Columbia University. And so far, more than 1,800 people have been arrested on college and university campuses since April 18th. While the demands by students vary somewhat, they are all calling for a ceasefire, and many want their colleges to divest from companies that support Israel and its war on Gaza.

- crackdown:** 厳しい取り締まり
- anti-Semitism:** 反ユダヤ主義
- Jewish:** ユダヤ人の
- Islamophobia:** イスラム嫌悪
- discrimination:** 差別
- call in police on:** ~ (人) のことで警察を呼ぶ
- humanitarian:** 人道の
- law enforcement:** 法の執行機関、警察
- clear:** ~を排除する、取り除く
- encampment:** キャンプ (地)、野営 (地)
- zipcuff:** ~にジップカフをかける  
▶ジップカフは、警察が逮捕時などに使う簡易的なプラスチック製の手錠。
- call for:** ①《call for...to do》…に~するよう求める ②声を上げて~を求める
- disperse:** 〈群衆などが〉四散する、解散する
- deem A B:** AをBとみなす、判断する
- unlawful assembly:** 違法な集会、不法集会
- spearhead:** ~の先頭に立つ、~を先導する
- vary:** 異なる、さまざまである
- ceasefire:** 停戦、休戦
- divest from:** ~への投資・資金提供を引き揚げる、やめる



\*お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

**クリスティアン・アマンプール** 例の大学キャンパスでの抗議運動（の影響）はホワイトハウスまで到達しています。そこではバイデン大統領が、抗議運動が始まって以来初めて、公式に発言しました。警察がデモ隊への厳しい取り締まりを行った直後のことです。

**ジョー・バイデン大統領（動画にて）** どここのキャンパスであろうと、アメリカ国内のどこであろうと、反ユダヤ主義や、ユダヤ人学生への暴力行使をほめめかす脅しは許されません。反ユダヤ人主義であれ、イスラム教徒への嫌悪であれ、アラブ系アメリカ人やパレスチナ系アメリカ人に対する差別であれ、いかなるヘイトスピーチや暴力行為も決して許されません。単純に間違っています。アメリカの価値観に合いません。全くの誤りです。非アメリカ的なのです。

**アマンプール** 今朝、新たにUCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）が自校の学生に対して警察の介入を求める大学の列に加わりました。対象となった学生の多くは、ガザでの戦闘や人道的危機に対する抗議として、テントを張り野営していました。野営の排除に入った警察は、学生たちを逮捕し、プラスチック製の手錠をかけました。大学側は事前に、警察が彼らの抗議運動を不法集会とみなしているとして、学生たちに解散を求めています。

さて、コロンビア大学が先陣を切ったこれらの抗議運動は、全米各地に広がっています。そして4月18日からこれまでの間に、大学キャンパスでの逮捕者は1800人余りとなりました。学生たちの要求に多少の違いはありますが、彼らが共通して求めているのは、（ガザでの）停戦であり、多くは自分たちの大学に対して、イスラエルや、ガザに対するイスラエルの戦闘を支援する企業への投資を停止するよう求めています。



FREE PALESTINE!（パレスチナを解放せよ!）などのメッセージを掲げて抗議する、米国各地の学生たち

#### ■ 学生たちは何を要求しているのか

イスラエルによるパレスチナへの報復攻撃に対し、全米各地の大学で学生や教職員による抗議運動が続いている。昨年10月から続くこの動きは、4月18日、コロンビア大学当局が警察を動員してキャンパス内で抗議運動を展開する学生らを排除したことでさらに激化し、世界的な注目を集めるようになった。逮捕された学生の数は1800人を超えるという。

学生たちの要求は、イスラエルによるガザ地区攻撃の即時停止にとどまらない。彼らは、アメリカ政府、企業、そして大学に対し、イスラエルへの資金流入につながる経済的支援や経済活動の停止も求めている。デモのプラカードなどによく見られる「DIVEST」という語は、この文脈においてはinvestの対義語で、「（イスラエルやイスラエル資本の企業への）投資・資金提供をやめよ」というメッセージであり、この運動の核心を表すものだ。

バイデン政権は5月初め、イスラエルへの弾薬輸送を一部停止した。これは、パレスチナ民間人の犠牲者増加に対する国内外の非難の高まりを受けたものと考えられる。しかし、6月中旬現在も犠牲者は増え続け、停戦には至っていない。アメリカは国連安保理でイスラエルにガザ地区ラファへの攻撃は行わないよう事前に警告をしていたが、イスラエルはこれを無視し、現在（6月中旬）も攻撃を続けている。